

中野 寛之 議員

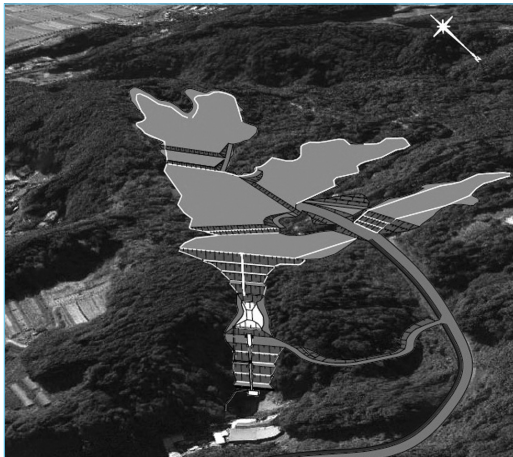


一問一答方式

- ①阿蔵高山残土処理場建設事業
- ②ふるさと納税制度
- ③公衆無線LAN(Wi-Fi)整備
- ④博物館等の展示物に対する写真撮影

阿蔵高山残土処理場建設事業について

問 市が所有する阿蔵・高山用地において、大洲・八幡浜自動車道や松山自動車などの建設発生残土を受け入れる残土処理場を建設すると



阿蔵高山残土処理場(イメージ図)

いう計画が発表された。

今回の計画では、最終的には88万立米の残土受け入れを目指すとのことと、長期間にわたりダンプカーが周辺地を行き交うことにもなる。久米小学校や喜多小学校の通学路にも重なり、今後計画が進展していくと、市民からも安全対策を求める意見が当然強くなると思われるが、理事者の見解を伺いたい。

答 土砂搬入時の安全対策については、現在、西日本高速道路株式会社が入経路などについて検討しているところであり、その結果に基づき、安全対策の徹底を図りたいと

考えています。また、土砂の搬入については、学校の通学路を通行することも予想されますので、該当する学校には事前に周知を図るとともに、児童・生徒の安全対策についても徹底を図っていきたいと考えています。

ふるさと納税制度について

問 本市においては、ふるさと納税の推進を図られており、その寄附金の使い道として、5つの総合計画に基づいた項目から選択することになっているが、これはやや具体性に欠けており、寄附の意思をかき立てる要素がやや少ないのではないかと感じている。

答 今後、ふるさと納税を行う方の裾野を拡大していくため、ガバメント・クラウド・ファンディングについても引き続き研究を行うなど、ふるさと納税制度の仕組みを活用し、用途を明確にして、インターネット上で事業資金の寄附を募るガバメント・クラウド・ファンディングについて、取り組んでいく考えはないか。

今後、ふるさと納税を行う方の裾野を拡大していくため、ガバメント・クラウド・ファンディングについても引き続き研究を行うなど、ふるさと納税のさらなる活用に向けて取り組んでいきたいと考えています。

公衆無線LAN(Wi-Fi)整備について

問 インスタグラムのようなSNSの使用を前提とし、観光客が実際に滞在する場所において、的確に公衆無線LANを整備していくことが必要だと考えているが、一方で、公共施設や観光施設、喫茶店、飲食店など、既に整備している施設の中でも、使える場所が限定されている場合も多々ある。これらの点について、理事者の見解をお伺いする。

答 既に整備を完了している施設においても、つながりやすさ等の実質的な利便性を再確認しながら、改善策を検討するとともに、未整備スポットでの新たな対応方法についても、検証していきたいと考えています。なお、来訪者のSNSを通じての情報拡散への利便性向上の観点から、民間施設の活用なども研究し、対応が必要なものについては順次整備をしていきたいと考えています。